

昔の くらしと 建造物



酒田市
木曾路
吹田市 (旧中西家住宅)

酒田十景（山形県酒田市） / 五十嵐雲嶺（1863年）



江戸後期の酒田市の
様子がわかる十景

酒田十景.
公益財団法人本間美術館所蔵,酒田市の図書館 /
光丘文庫デジタルアーカイブ収録. IN COPYRIGHT
- EDUCATIONAL USE PERMITTED(要利用申請).
https://jpsearch.go.jp/item/adeac-R100000094_I000066951_00

山居倉庫（山形県酒田市）

山居倉庫は、明治26年旧藩主酒井家によって建てられた米保管倉庫です。米の積出港として賑わった酒田の歴史を今に伝え、NHK朝の連続テレビ小説「おしん」のロケーション舞台にもなりました。白壁、土蔵づくり12棟からなる倉庫群のうち、9棟は2022年まで農業倉庫として使用されていました。米の収容能力は10,800トン（18万俵）。夏の高温防止のために背後に檜並木を配し、内部の湿気防止には二重屋根にするなど、自然を利用した先人の知恵が生かされた低温倉庫です。

（紹介文：酒田市HP/ <https://www.city.sakata.lg.jp/bunka/bunkazai/bunkazaishisetsu/sankyosouko.html>）

（写真/山居倉庫 写真:酒田市立図書館／光丘文庫デジタルアーカイブ収録。IN COPYRIGHT - EDUCATIONAL USE PERMITTED(要利用申請). https://jpsearch.go.jp/item/adeac-R10000094_1000085641_00）



「なぜ倉庫があるのだろうか？」

(問いの例)

- ・ 倉庫は何のための建物だろうか？
- ・ 倉庫はどのような場所に作られるのだろうか？
- ・ 倉庫はなぜ必要なのだろうか？
- ・ この倉庫に何が置かれていたのだろうか？
- ・ この倉庫に保管される荷は、どこから、どうやって、持ち込まれたのだろうか？
- ・ この倉庫に保管した荷は、どこへ、どうやって、運ぶのだろうか？

この建物は？？？



大正15年（1926）5月山居倉庫構内に東宮殿下行啓記念研究室を建設する。

研究室は米に関する参考資料を蒐集するほか、生産に関する実地の研究施設として酒井家の後援により試作田を設置し、倉庫員にこれをあたらせた。

（参考文献 酒田市史編纂委員会編『酒田市史年表改訂版』）

本間家日本邸（山形県酒田市）



本間家日本邸は明和5年（1768）に本間光丘が庄内藩主酒井家のために旗本2千石格の巡検使宿として寄附したもので武家造り、長屋門、書院造りが特色となっている。

庄内藩では後にこの建物を本間家に譲り渡している。

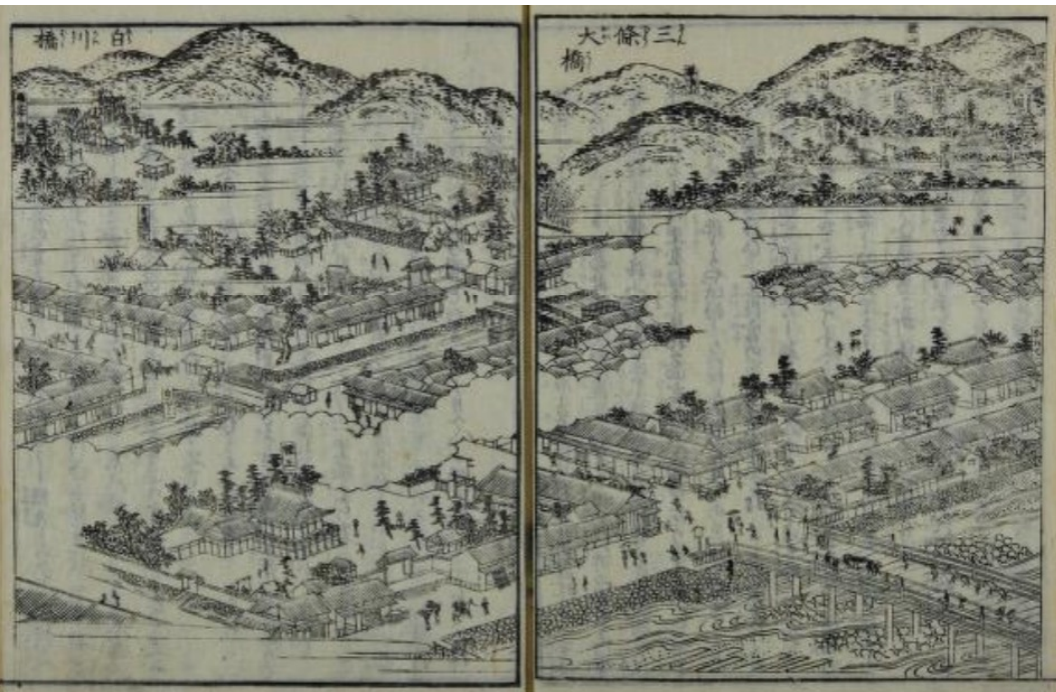
江戸時代の厳しい身分制度の中において、本間家は商人であったため2千石格式の書院や玄関等はほとんど私的には使用していなかったと言われている。

本間家日本邸は武家屋敷と商人屋敷が入りまじった稀有な建物である。

戦後の一時期、本間家が住んでいたが、その後、公民館になり、現在は本立信成株式会社が運営している。

（光丘文庫デジタルアーカイブより）

木曾路名所図会 卷1 乾(文化2年/1805年)～卷3



『木曾路名所図会』とは
寺社・旧跡・景勝地などの由来を挿絵と共に
掲載したガイドブックが盛んに出版されてい
た江戸時代後期。

その先駆けとなった「都名所図会」の作者で
ある秋里籬島が編集したこの書では、

木曾路(京都から江戸までを結ぶ中山道)の名所
などを紹介し、

今まで語り継がれてきた和歌や俳句、漢詩な
どを織り込みながら由来などについて言及し
ています。

※今後の展開：例えば木曾路沿いの各地域の産業や文
化、自然環境といった具体的な地域情報資源を追加で
きると、みんなで作る地域教材にできるのではないか

↑三條大橋／白川橋（三條大橋：江戸時代の東海道、京の都の入口）

木曾路名所図会 卷1 乾(文化2年/1805年)～卷3



↑ 大津小舟入（当時の水運・港の様子）



↑鳥居峠 御嶽／遠景 義仲／硯水（難所を越える旅装束）

木曾路名所図会 卷1 乾, p29. 信州デジタルcommons収録.PDM.
<https://www.ro-da.jp/shinshu-dcommons/library/02BK0104170360>

木曾路名所図会 卷3, p37. 信州デジタルcommons収録.PDM.
<https://www.ro-da.jp/shinshu-dcommons/library/02BK0104170410>

昔の部屋(和室)のつくり

資料番号 8



- ①床の間：人が座る場所よりも一段高つくられており、
掛け軸や置物を飾る。
- ②床脇：元々は書棚としての空間だったが、床の間と一緒に
設けられる飾り棚となった空間。
- ③書院：元々は読書をするための空間だった。
床の間に設けられる座敷飾りに変化した。
- ④違い棚：床脇に段違いに取り付けた飾り棚のこと。
- ⑤天井板と竿縁：天井を仕上げるための板材と、それを支える長細い
部分。竿縁は装飾の意味もある。
- ⑥鴨居：障子等の引き戸の上枠で、溝が彫られている部分。
下枠の敷居の溝と対になる。レール。

資料番号 9



- ⑦敷居：障子等の引き戸の下枠で、溝が彫られている。レール。
- ⑧障子：扉や窓の代わりに使われる、木の枠に和紙等をはったもの。

資料8：『夢の浮橋 第十三』酒田市立図書館／光丘文庫デジタルアーカイブ収録、酒田市立光丘文庫所蔵、
IN COPYRIGHT - EDUCATIONAL USE PERMITTED(要利用申請).
https://adeac.jp/kokyubunko/viewer/mp000010-200020/20_ukihasi013/

資料9：『夢の浮橋 第十二 天保12年(1841)1月4日』酒田市立図書館／光丘文庫デジタルアーカイブ収録、酒田市立光丘文庫
所蔵、IN COPYRIGHT - EDUCATIONAL USE PERMITTED(要利用申請).
https://adeac.jp/kokyubunko/viewer/mp000010-200020/20_ukihasi012/

旧笠石家住宅（青森県十和田市）



十和田湖奥入瀬川の
近くに位置する農家

旧笠石家住宅. 十和田市所蔵, 青森県史デジタルアーカイブシステム収録. CC BY-ND.

https://jpsearch.go.jp/item/aokenshida_mat-KEN_3_23_01